# 市長と語る会を開催しました

問合せ先　企画課秘書広報係　☎22－2

昨年10月7日～18日までの期間において、市長と語る会を市内6地区で計7回開催し、市民の皆さまと市政に関する意見交換、質疑応答を行いました。皆さまからの貴重なご意見を今後の行政運営に反映できるよう努力してまいります。主な内容をご紹介いたします。

## コロナ対策

### ①ワクチン接種

**◆ワクチンパッケージを進めているが体質上、接種できない方もいる。差別が生まれないような仕組みにしてほしい。**

ワクチンパッケージではなく、ワクチン検査パッケージなので、検査をすれば入店拒否等はされません。差別をされることはないと考えます。一方でコロナウイルスに感染した方への差別等が生まれることをどうにかしないといけなません。人権を尊重する心を呼びかけます。

**◆コロナウイルスワクチン接種の3回目をどのような工程で進めていくのか。**

現在準備を進めています。これまでの経験を活かし、予約体制の改善を図り、市民の皆さまのご希望に応えられるように努めます。

## まちづくり

### ①新庁舎

**◆新庁舎建設にどれだけの期間をかけるのか。基本計画の再設計にまた費用をかけるのか。現庁舎の跡地計画をしっかり定めてほしい。**

新庁舎の建設地は条例で決定しているが浸水エリア・コスト面の問題が出ており、それを解決しなければなりません。現庁舎跡地については、本来新庁舎の計画時に一緒に考えなければいけないことでした。駅前の跡地と新庁舎との結びつきを今後考えて計画していきます。

**◆メディカルセンターに庁舎を建設できないか。避難ビルを含めた庁舎を検討してほしい。議会の議決を覆すことはできないか。**

いろいろな考えがあると思います。議決されてしまってますが、その時、現庁舎の跡地利用は考えていなかったので、現在、それについて取り組んでいます。

### ②防災

**◆事前災害復興まちづくり計画を策定していく際に市民の意見を取り入れてほしい。**

災害が起きた後に計画づくりを進めると膨大な時間がかかり、復興計画が遅くなり工事にも時間がかかってしまいます。そうならないため、今のうちに計画を立てて行きます。多くの方からの意見を聞くようにしたいと考えます。

**◆避難所をもう少し身近な場所にしてほしい。避難所に行っても毛布だけしかなく、お年寄りが避難するには厳しい環境で、避難するのをためらう方もいると思う。**

避難は早めに呼びかけています。避難所を避難しやすい環境にするよう検討していきます。その他にもホテルを避難所として使用した際の補助制度もあるので周知していきます。

**◆防災無線をコミュニティに活用できないか。SHKや小林テレビが映らない稲梓地区だけに流すようなことはできないか。**

使用目的の制限があり、コミュニティで使用するのは難しいです。

（使用目的が防災・行政事務に関する事項とされている。）

**◆朝日地区に防災センター的な役割の建物設置を要望します。**

大賀茂川の洪水浸水想定が今年度末公表予定で、それに合わせて検討します。

**◆防災施設にある発電機は、月に1度ほど動かす必要があり管理が大変。ソーラーパネルのポータブル電源を市で整備してほしい。**

発電機はソーラー発電のものもあるので検討します。

### ③ごみ処理事業

**◆広域ごみ処理について敷根地区への建設は反対。文教地区になっている場所に迷惑施設の建設は考えるべき。基本計画は、ごみの減量がどのくらいできるのかわかってから計画を立てるべき。地域の住民の健康被害や黒いすすが降ってきていると聞いた。極力、焼却はしないことを要望する。**

市の都市計画上、工場等を建設することが許可された地域です。30年前に焼却場を作った後に、学校ができ、住宅ができました。その際も、環境基準はクリアをしており、市で設けた自主基準もクリアしています。まずは、ごみの減量化を進めていきたいと思います。

（健康被害等に関して市が確認している事実はありません。）

**◆各地区で出したごみは自分たちの地域で処理する方向で進めた方がいい。ごみを燃やそうとするからいけない。**

人口減少が進んでいる地域で自分たちだけで処理するのは困難です。焼却しないで埋設をする地域もありますが、市では焼却で進めています。すぐにライフスタイルを変えることは難しく、段階をおって変えていけたらいいと考えています。

### ④公共施設

**◆下田東、稲梓中学校の跡地はどうするのか。**

校舎で耐震性がないものは解体する予定です。稲生沢中は利用を考えています。

**◆図書館を訪ねると駐車場が狭い、新刊が少ない、子どもたちが本を読む雰囲気が感じられない。本を読みたくなる環境を整備してほしい。**

図書館の機能が他地区より立ち遅れているのは感じます。生涯学習課としては図書館の建替え、駐車場の確保、まちなか図書館（空き家等を活用して場所によっては同じジャンルの本を集めるなど）、移動図書館などを検討してまいります。

### ⑤通学路

**◆国道・県道に歩道がなく危険。道が狭く、自転車が通る際も危ない。中学統合に向けた安全対策として、県や国に要望してほしい。**

国県道は、県が管理者となり、速度制限となると警察の管轄のため、市と関係機関が連携して取り組んでいきます。新中学校の交通安全対策の組織も始まったので、小学校の通学も合わせて考えなければいけないと感じています。地形的に歩道を整備するのが難しい場所が多々ありますが、私たちにできること、自動車に乗っている人は歩行者や自転車を配慮する気持ち、歩行者や自転車の人は反射板等を付けて運転者から見えるようにするなど、すぐできることで、まずは対応します。県からは根本的な問題は検討するとの回答を受けています。

様々な方策を多方面から考えていきます。

**◆中学校統合後、バス通学でない稲生沢、まちなかの子どもは、雨天時どう通学するのか。不公平がないようにしてほしい。**

不公平がないようにすることは、社会的に難しいと思います。保護者からはこれまでの中学校の通学以上の負担にならないようにしてほしいと聞いています。自転車通学の生徒にはバスの回数券を配布して選択できるように考えており、徒歩通学についてはまだ解決できていないので保護者、生徒、先生と協議していきます。

## 仕事づくり

### ①有害鳥獣

**◆鳥獣対策として任用職員が2名では不足と感じる。また、鳥獣免許、講習会の予約が取れない。**

ここ数年で鳥獣の個体数自体が増加し、市の体制が追い付いていないのが実情です。職員をすぐに増やすことはできませんが検討の余地はあると思います。また、ICT、AI、ドローン等を活用し、対策できないかも検討していきます。免許講習会は市の主催ではありませんが、関係機関と連携し、市民の方が受講しやすいように要望をしていきます。

### ②産業振興

**◆山林が荒れている。観光も大事だが、産業、農業も大事であり自然（特に山）をどう支えていくのか住民も一緒に考える機会を設けてほしい。山の活用、海と山をコラボさせた取り組みを広めてほしい。**

小規模農家が多く、市内の一次産業は観光で成り立っている面があるので両立できるようにしていきます。里山としての活用方法は具体的に決まっていないため、下田の資源を活かすという点でも今後は注視したいと思います。

**◆観光のまち下田で観光客は減少し続け、衰退している。行政として今後を考える場を設けてほしい。**

昨年度、下田市観光戦略を策定しました。関係団体で協議は行っており、海、歴史のまちを活かしていこうという観光戦略を考えています。

庁内だけでなく市民の声も聞くワークショップ等を今後開催していきたいと考えます。

## ひとづくり

### ①子育て

**◆保育料の支払いについて、働いているため平日昼間に納付できない。銀行引き落としできるように5年前から要望しているが改善されない。**

銀行振込については、ニーズと費用対効果を考慮して検討しています。

**◆若い世代（子育て世代）の声を聞く機会をどのように作り出そうと考えているか。**

語る会は、子育て等で平日の夜に出られない方が出席できるように土曜日の時間枠を設けています。その他にもこちらから保育園等に出向いて話を聞くというような工夫を考えています。アプリの使用も今後活用できるように進めていきます。

**◆子どもの遊び場がない。スケートボード練習場を整備してほしい（全国のスケートパークの資料を提供）。**

同じように公園が少ないとは感じます。伊豆縦貫道の発生土を使って公園を整備しようと進めていますが、今ある空間（まどが浜海遊公園）を整備できないかも考えています。スケート場は競技人口的には難しいとも感じますが、そのような場所があれば目玉になる可能性もあると考えます。